旭　川　市　文　化　奨　励　賞

教育（文芸）

ほっかいどうあさひかわひがしこうとうがっこうぶんげいぶ
北海道旭川東高等学校文芸部

北海道旭川東高等学校文芸部は、旧制旭川中学校の学友会雑誌部として、明治36年に創設された。その後、昭和23年に北海道旭川東高等学校生徒会「文芸部」として独立し現在に至る。昭和25年に創刊された文芸部誌「炎」は今年で第83号を数える。

文芸に興味と関心を持つ同好の生徒が自発的、自主的に創作活動に励んでおり、その活動は高校３年間にとどまることなく、卒業後も高校時代の活動からテーマを見いだし、大学で文芸活動や文芸研究を継続する者、農業を営みながら俳句を続ける者、仕事をしながら、主婦業の傍ら小説を書き続ける者など、生涯にわたって文芸に親しむ活動へとつながっている。

平成15年に北海道高等学校文化連盟文芸専門部が組織されたことにより、全道、全国レベルの大会出場への道も開かれ、全国高等学校文芸コンクール、全国高等学校総合文化祭、全国高等学校俳句選手権（俳句甲子園）全国大会等に出場し、多くの最優秀賞、優秀賞を受賞するなど、輝かしい成績を残している。特に、俳句甲子園には13年連続で全国大会に出場しており、本年は準優勝となるなど、その実力を全国に知らしめている。

平成20年度からは市内で行われている学生合同文化祭にも旭東俳句甲子園と銘打って参加し、平成26年度からは三浦綾子記念文学館等においても作品やディベートを披露するなど、地域に根ざした活動にも力を入れている。

永年にわたる積極的な活動や全国規模での業績、生涯にわたり文芸に親しむ心を育てる場としての活動は、本市の教育向上に貢献するものであり、当団体の今後一層の活躍が期待される。

経　歴

明治３６年(1903)	旧制旭川中学校学友会雑誌部として創部
昭和２３年(1948)	北海道旭川東高等学校生徒会「文芸部」として独立
昭和２５年(1950)	文芸部誌「炎」創刊（平成27年で第83号を数える）

近年の主な活動

全国高等学校文芸コンクール	優秀賞２人、優良賞５人、入選２人
全国高等学校総合文化祭	11回参加（平成16～23、25～27年）
全国高等学校俳句選手権（俳句甲子園）全国大会	13年連続出場 準優勝１回 決勝トーナメント２回戦進出２回 審査員特別賞１回
神奈川大学全国高校生俳句大賞	個人入賞７人、学校団体賞１回
北海道高等学校文芸コンクール	最優秀11人、優秀23人、入選佳作29人、金賞３回

北海道旭川東高等学校文芸部

このたび、我が旭川東高校文芸部が栄えある旭川市文化奨励賞をいただきましたこと、誠にありがとうございます。ひとえに、旭川市の皆さまをはじめ、全道、全国の皆さまの長年にわたるご指導のおかげと重ねて感謝申し上げます。

旧制旭川中学校であった100年以上も前の明治三十六年に学友会雑誌部として設立され、終戦後文芸部として独立し、現在は十二名の部員で活動しています。普段はそれぞれが小説、詩、短歌、俳句などの創作活動に励み、また合評会や句会などの意見交換、情報交流の場も持ち、その成果を年に二回発行する部誌に結実させています。

また、ときには校外に赴いて、地域の句会や、団体、文学館の催しに参加させていただいたり、高等学校文化連盟の各種研究大会に参加し、プロの作家や詩人、歌人、俳人の方のご指導をいただき、道内道外の文芸部員とも活発に交流しています。

我が文芸部を旅立った卒業生は、大学での文学研究、仕事や生活の合間を縫っての創作活動など、部で培った文芸の心を忘れることなく全国各地で活躍しています。

これからも日々の創作活動を怠ることなく、更なる課題、目標を追求してゆきます。微力ではありますが、高校文芸、旭川市の文芸の盛り上がりに貢献できますよう、邁進することを誓いまして受賞の言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

旭川市文化賞贈呈式

旭川市文化賞贈呈式